

事業所名		シルビアン レクトレセンター（放課後等デイサービス）				支援プログラム（参考様式）		作成日		令和7	年	3	月	1	日
法人（事業所）理念		住み慣れた地域で自立して日常生活を送ることが出来るように支援を行います。また、家族などの介護負担の軽減も図ります。													
支援方針		障害児が生活能力の向上のために必要な支援を行い、及び社会との交流を図ることが出来るよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を行います。													
営業時間			9 時	30 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり		なし		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・心身の健康維持や増進、健康状態の把握（来所毎体温測定、視診、情緒面の把握） ・清潔動作の向上（手洗いの励行、汚れたり、発汗の多い場合は着替えを促す） ・危険認知スキルの向上 ・生活リズムや生活習慣の形成（定時の排泄誘導、睡眠の把握、おやつや水分補給を利用した摂食への援助等の実施） ・ADLや身辺整理（かばんや靴を所定の位置に収納する、片付けの指導） ・食育（菜園体験、おやつ作り） ・年齢、性別に応じた服装の助言や身だしなみの整え方（衣類、洗顔、頭髮、爪等） ・特性に配慮した視覚支援や環境の構造化を実施													
	運動・感覚	・日常動作や感覚統合遊びを通して周囲の環境に合わせた姿勢、運動ができるよう姿勢と運動、動作の向上を図る。（体力作り、体幹バランス能力の向上、上下半身の身体の使い方、判断力の習得） ・制作活動や調理実習を通して手や指先を使う機会を提供 ・運動や遊びのルール、決まり事を覚えることで衝動性のコントロールを身に付ける													
	認知・行動	・空間、時間、曜日の把握や数の概念、感覚と数の認知形成。（具体物を使用する段階から徐々に抽象的な思考へ進めるよう支援） ・スケジュールの視覚化、環境の構造化を取り入れる。タイマーやカームダウンスペースの設置 ・季節の変化への興味など感性形成の為に行事や活動、外出を設定 ・こだわりや偏食に対応													
	言語コミュニケーション	・挨拶や場面にあった言葉遣い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ・写真、絵やマーク、記号などを言葉とあわせて視覚化を行い、語彙力の向上を目指す ・言語によるコミュニケーションとあわせて、指差し、ジェスチャー、絵カードなども含めた非言語コミュニケーションも活用、意思伝達がしやすいよう支援 ・SST、発表する機会の提供													
	人間関係社会性	・小学生～高校生までの幅広い異年齢児交流の中で人との関わり方や接し方を学ぶ ・小集団での活動を通し、ルールの理解や適切なふるまいを学べるよう支援。長期休暇時は外出活動を設定し、公共の場でのルールを知る経験を積む ・自己理解、他者理解への支援（個別療育、SST、社会体験） ・安定した環境設定の為に、感覚過敏への配慮や支援を行う。ふれあい遊びや手遊びや歌、職員や異年齢児を含めた場での自由遊びを通して、人の動きを模倣することを促す													
家族支援		・ご家族の介護負担軽減や支援方法の改善を図れるよう、児童の特性に関する情報や具体的な支援を提案 ・児童との関わり、兄弟に関すること等、様々な不安や困り感に寄り添い、相談や助言を行う						移行支援		・具体的な移行先との調整や家族への情報提供、相談援助、連携 ・他法人や地域交流の機会を提供することで、集団への参加・適応する力を養う					
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携（医療機関や保健所、児童相談所等） ・学校や併用利用先との情報共有、地域の方々との交流や合同行事の開催						職員の質の向上		・定期的な療育会議、職員会議、ケース会議等の実施 ・研修への参加、資格取得の推奨 ・年間計画として研修機会（社内・社外）の制定、児童に関連のある機関との連携会議への参加					
主な行事等		・季節の行事（七夕、芸術鑑賞、ハロウィン、クリスマス、運動会等）、季節に関する制作 ・月1回の調理実習、長期休暇時は屋外、施設外での活動、体験を実施 ・地域の方々との交流会													